

新規事業採択時評価結果(令和7年度新規事業化箇所)

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：水野 宏治

事業の概要

事業名	地高ICアクセス 主要地方道 甲府笛吹線 (仮称)小石和ICアクセス	事業区分	地方道	事業主体	山梨県
起終点	自:山梨県笛吹市石和町 至:山梨県笛吹市八代町			延長	1.6km
事業概要					
主要地方道甲府笛吹線は、山梨県甲府市太田町から山梨県笛吹市八代町に至る幹線道路である。 このうち、(仮称)小石和ICアクセスは、地域高規格道路新山梨環状道路(仮称)小石和ICと中央自動車道笛吹八代スマートICを接続する延長1.6kmの道路拡幅を行うものである。					
事業の目的、必要性					
新山梨環状道路(東部区間Ⅱ期)は、「甲府都市圏における交通の円滑化」や「甲府市と周辺市町村間の連絡強化」などを目的に平成26年度に新規事業化されている。 本事業は、第一次緊急輸送道路に指定されている新山梨環状道路((仮称)小石和IC)と中央自動車道(笛吹八代スマートIC)を結ぶアクセス道路として位置付けられており、当該区間を整備することで、新山梨環状道路(仮称)小石和ICへのアクセス性が向上され、災害時も安定して機能する強靱な道路ネットワークが期待される。					
全体事業費		約92億円		計画交通量	約8,900台／日
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

・甲府・笛吹・富士河口湖・富士吉田線促進期成同盟会(甲府市、富士吉田市、笛吹市、富士河口湖町、西桂町他3村)より、整備の要望(平成30年から毎年要望あり、直近は令和5年10月13日、令和7年2月12日)を受けている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

山梨県公共事業評価委員会(令和5年11月21日)において、新規事業化は妥当と認められている。

対応方針(採択理由)

費用便益比が1.6と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、周辺の渋滞の緩和、交通事故の減少、緊急輸送道路の機能強化、災害時の防災拠点へのアクセス向上等、当該事業の整備の必要性・社会全体の効果は高いと判断される。
以上により、本事業は令和7年度新規事業箇所として妥当である。

事業評価結果（総合評価）

事業採択の前提条件
☒ 便益が費用を上回っている
☒ 事業実施環境が整っている

費用 便 益 分	B/C		(参考)	EIRR	総費用	72億円	総便益	113億円	感度分析		基準年
		[4%]	1.6		〔 事 業 費：70億円 維持管理費：1.5億円 更 新 費：－ 億円〕		〔 走行時間短縮便益：99億円 走行経費減少便益：13億円 交通事故減少便益：0.87億円〕		交通量変動	B/C＝1.6～1.6(変動ケース:±10%)	令和6年
	(参考)	[2%]	2.4						事業費変動	B/C＝1.4～1.7(変動ケース:±10%)	
		[1%]	3.1						事業期間変動	B/C＝1.5～1.6(変動ケース:±20%)	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
※B/Cは、を対象とした場合の値、() 書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔)内は社会的割引率の値)

事業 の 影 響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	道路拡幅により、旅行速度の向上に伴う渋滞損失時間の緩和が期待される。 【渋滞損失時間】317 万人時間/年→252 万人時間/年(約 2 割減少) 主要渋滞箇所 1箇所(蛭見橋西詰交差点)
		事故対策	◎	道路拡幅により、安全性の向上が図られる。 令和5年度事故発生件数 4件(車両相互事故3件、人対車両事故1件)
		歩行空間	◎	歩道未整備及び狭隘区間に歩道を整備することにより、安全な歩行空間が確保される。
	社会全体への影響	住民生活	○	峡東地域(笛吹市八代支所)から県庁へのアクセス性が向上し、走行時間短縮(27 分→21 分)が図られる。
		地域経済	○	東京圏からの地域産業物流輸送において、中央自動車道と新山梨環状道路を最短で接続するアクセス道路が整備されることにより、輸送時間短縮が図られ地域産業の活性化が期待される。
		災害	◎	幅員等の狭隘箇所の解消や蛭見橋の架け替えにより、本路線の第2次緊急輸送道路としての機能が強化される。 第1次緊急輸送道路である中央自動車道や新山梨環状道路(開通後指定)と連携して、災害時も安定して機能する緊急輸送道路ネットワークが構築される。 災害時の防災拠点(笛吹市役所八代支所、八代総合会館)へのアクセス向上が図られる。
		環境	—	注目すべき影響はない。
		地域社会	○	中央自動車道とのアクセス性が向上し、東京圏との交流促進がさらに期待される。

事業実施環境
・新山梨環状道路(東部区間Ⅱ期)は、平成26年度に事業化されている。 ・甲府・笛吹・富士河口湖・富士吉田線促進期成同盟会(甲府市、富士吉田市、笛吹市、富士河口湖町、西桂町他3村)より、整備の要望(平成30年から毎年要望あり、直近は令和5年10月13日、令和7年2月12日)を受けている。